

## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月30日

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社

上場取引所 名

コード番号 8071 URL <https://www.tokai-ele.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 慎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 谷 徹雄

TEL 052-261-3211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,720	17.0	137	74.5	172	69.0	62	82.3
2024年3月期第1四半期	16,523	9.0	539	46.0	556	36.0	350	33.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 382百万円 (53.4%) 2024年3月期第1四半期 819百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	29.55	28.87
2024年3月期第1四半期	166.63	163.02

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	30,402	17,277	56.5
2024年3月期	30,798	17,016	54.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,179百万円 2024年3月期 16,917百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		57.00		57.00	114.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		57.00		57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	4.4	300	68.8	310	68.8	180	71.9	85.24
通期	61,000	0.3	700	56.4	720	56.6	430	12.6	203.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,360,263 株	2024年3月期	2,360,263 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	248,448 株	2024年3月期	248,628 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	2,101,709 株	2024年3月期1Q	2,105,154 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・金融商品取引法の改正により、四半期報告書の提出はありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で世界経済においては、不動産市況の停滞に伴う中国経済の低迷、資源・原材料価格の高騰、そして円安の進行などによる物価高の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となっています。

このような経済環境のもと、当社グループは2023年度からの3カ年計画である中期経営計画「Move for Future 2025：MF25」の2年目となり、MF25のテーマである「1. 実行力！ミライの価値づくりに、さあ動き出そう～想いや経験を共有し、みんなで未来へ進もう～」、「2. 安心・安全な社会、緑豊かな環境を創ろう～エレクトロニクスのチカラでより良い社会を創ろう～」の方針に沿って、益々エレクトロニクス化、グローバル化が進む事業環境の中、自動車、医療、環境・エネルギー、IoT・FA、ソフトウェアなどの各市場分野において、お客様視点に立ったソリューション提案を進めています。

その主な取り組みとして、橋梁など社会インフラの老朽化や故障のような社会課題に対して、IoTを活用したシステム提案により未然防止などの解決に取り組んでいます。また、当社の海外拠点のネットワークを活かし、欧州のセンサーメーカーと協力関係を強化して最新技術を利用したセンサーを日本、中国、米国、東南アジアなど様々な地域のお客様に提案してビジネス拡大に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の主な市場分野別の業績については、自動車分野においては、海外では東南アジア圏で半導体デバイスの新規採用があり販売が増加したことなどから前年同期を上回りましたが、国内は中国市場での自動車販売減少の影響により半導体デバイスの販売が減少したことなどから、自動車分野全体では前年同期を下回りました。また、FA・工作機械分野においても、自動車関連及び半導体関連での設備投資が低迷したことなどから国内外ともに前年同期を下回りました。情報通信分野においては、国内は健康管理機器向け電子デバイスなどの販売が増加したほか、海外でも東南アジア圏を中心にOA機器向け電子デバイスなどの販売が増加したことなどから、全体では前年同期を上回る結果となりました。

市場分野別の売上につきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

市場分野別	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	構成比(%)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	構成比(%)	前期比(%)
自動車	11,446,711	69.3	9,914,854	72.3	△13.4
FA・ 工作機械	2,605,984	15.8	1,409,282	10.3	△45.9
情報通信	1,115,571	6.7	1,412,526	10.3	26.6
環境	324,740	2.0	192,728	1.4	△40.7
医療	239,956	1.4	199,721	1.4	△16.8
その他	790,431	4.8	591,825	4.3	△25.1
合計	16,523,396	100.0	13,720,938	100.0	△17.0

上記の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は137億2千万円（前年同期比17.0%減）となり、利益面においては営業利益1億3千7百万円（前年同期比74.5%減）、経常利益1億7千2百万円（前年同期比69.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6千2百万円（前年同期比82.3%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## ○関東・甲信越カンパニー

自動車分野においては、一部のお客様で商流移管があり半導体デバイス在庫の一括買い取りがあったことから、一時的に販売が増加しました。また、情報通信分野においても、健康管理機器向け電子デバイスなどの販売が増加しました。一方でFA・工作機械分野においては、中国向け需要の減速により電子デバイスなどの販売が減少したことなどから、売上高は10億6千9百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

## ○中部・関西第1カンパニー

情報通信分野においては、お客様の生産が堅調に推移し電子デバイスの販売が増加しました。一方でFA・工作機械分野においては、自動車関連及び半導体関連向けの設備投資が低迷し電子デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は14億8千1百万円（前年同期比45.3%減）となりました。

## ○中部・関西第2カンパニー

自動車分野においては、省エネルギーを目的とした電子デバイスの販売は増加しましたが、中国市場での自動車の販売不振などの影響により半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は15億7千7百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

## ○中部・関西第3カンパニー

自動車分野においては、半導体不足によるお客様の生産調整は緩和されましたが、中国市場での自動車の販売不振や自動車メーカー認証不正の影響による生産減少などにより、マイコンなどの半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は50億5千6百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

## ○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

F A・工作機械分野においては、お客様の生産調整の影響で電子デバイスの販売が減少しました。一方で情報通信分野においては、東南アジア圏を中心にお客様の生産が回復し、データセンター向けやOA機器向け電子デバイスなどの販売が増加しました。また、自動車分野においても、東南アジア圏で半導体デバイスの新規採用があり販売が増加したことに加え、欧米圏でも半導体デバイスの販売が堅調に推移しました。また、為替相場が前年同期と比べ円安となったことから、売上高は40億6千5百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

## ○システム・ソリューションカンパニー

航空宇宙分野においては、お客様の防衛用向け試験装置の設備改修の受注が増加しました。一方で公共事業分野においては、採算性を重視し工事案件の選別を実施したことにより新規受注は減少しました。また、F A・工作機械分野においても、半導体設備関連の需要が低迷したことによりアセンブリ製品等の販売が減少したことなどから、売上高は4億6千9百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

セグメント別の売上につきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	構成比(%)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	構成比(%)	前期比(%)
関東・甲信越 カンパニー	1,105,106	6.7	1,069,983	7.8	△3.2
中部・関西 第1カンパニー	2,706,953	16.4	1,481,534	10.8	△45.3
中部・関西 第2カンパニー	1,859,986	11.2	1,577,527	11.5	△15.2
中部・関西 第3カンパニー	6,384,891	38.6	5,056,807	36.9	△20.8
オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	3,713,271	22.5	4,065,399	29.6	9.5
システム・ ソリューション カンパニー	753,187	4.6	469,686	3.4	△37.6
合計	16,523,396	100.0	13,720,938	100.0	△17.0

## (2) 当四半期の財政状態の概況

### 資産・負債・純資産の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は304億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千6百万円の減少となりました。主な要因は、棚卸資産が12億9千4百万円、未収入金などの増加により流動資産のその他が1億6千万円増加しましたが、売上債権等が16億9百万円、現金及び預金が3億5千5百万円減少したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は131億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千7百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が増加しましたが、仕入債務が3億8千9百万円、未払法人税等が2億8千8百万円、未払消費税などの減少により流動負債のその他が1億6百万円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は172億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益6千2百万円の計上があったものの、配当金の支払い1億2千万円があり5千8百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が3億2千万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月26日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,268,261	3,912,414
受取手形、売掛金及び契約資産	8,221,531	7,616,498
電子記録債権	2,663,408	1,659,211
棚卸資産	10,068,107	11,362,356
その他	260,196	421,002
流動資産合計	25,481,506	24,971,482
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,902,985	1,902,985
その他(純額)	617,297	645,158
有形固定資産合計	2,520,282	2,548,143
無形固定資産		
投資その他の資産	57,286	57,893
投資有価証券	1,713,311	1,715,329
その他	1,025,790	1,109,202
投資その他の資産合計	2,739,102	2,824,532
固定資産合計	5,316,671	5,430,569
資産合計	30,798,177	30,402,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,551,716	5,709,601
電子記録債務	2,157,251	1,609,395
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	3,800,000	3,800,000
未払法人税等	329,846	41,825
賞与引当金	237,459	148,951
役員賞与引当金	124,895	31,674
その他	858,023	751,068
流動負債合計	13,059,193	12,292,517
固定負債		
退職給付に係る負債	399,157	406,251
その他	323,265	425,447
固定負債合計	722,423	831,699
負債合計	13,781,617	13,124,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	10,587,438	10,529,230
自己株式	△517,457	△517,278
株主資本合計	15,656,386	15,598,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	853,729	853,446
土地再評価差額金	△662,775	△662,775
為替換算調整勘定	1,070,279	1,390,755
その他の包括利益累計額合計	1,261,233	1,581,426
新株予約権	98,940	98,050
純資産合計	17,016,559	17,277,835
負債純資産合計	30,798,177	30,402,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	16,523,396	13,720,938
売上原価	14,569,346	12,216,427
売上総利益	1,954,049	1,504,511
販売費及び一般管理費	1,414,270	1,366,978
営業利益	539,778	137,533
営業外収益		
受取利息	1,605	12,043
受取配当金	13,270	15,042
仕入割引	2,268	1,240
為替差益	3,247	13,255
不動産賃貸料	7,195	7,576
その他	4,202	1,109
営業外収益合計	31,789	50,269
営業外費用		
支払利息	9,397	8,361
売上債権売却損	3,012	4,385
不動産賃貸原価	2,974	2,848
その他	1	1
営業外費用合計	15,385	15,596
経常利益	556,182	172,205
税金等調整前四半期純利益	556,182	172,205
法人税、住民税及び事業税	146,503	19,461
法人税等調整額	58,897	90,646
法人税等合計	205,400	110,107
四半期純利益	350,781	62,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,781	62,098



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	350,781	62,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166,836	△282
為替換算調整勘定	302,133	320,476
その他の包括利益合計	468,970	320,193
四半期包括利益	819,752	382,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819,752	382,291

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	中部・関西第 3カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高							
外部顧客への売上高	1,105,106	2,706,953	1,859,986	6,384,891	3,713,271	753,187	16,523,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	292,509	117,650	5,459	56,167	403,530	5,894	881,212
計	1,397,616	2,824,604	1,865,446	6,441,059	4,116,801	759,081	17,404,608
セグメント利益	70,338	154,669	20,337	347,318	39,465	63,102	695,232

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	695,232
セグメント間取引消去	27,611
全社費用(注)	△183,064
四半期連結損益計算書の営業利益	539,778

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	中部・関西第 3カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高							
外部顧客への売上高	1,069,983	1,481,534	1,577,527	5,056,807	4,065,399	469,686	13,720,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	294,085	156,256	5,582	68,210	619,375	5,311	1,148,823
計	1,364,069	1,637,790	1,583,110	5,125,017	4,684,775	474,998	14,869,762
セグメント利益	53,476	42,123	10,409	163,641	34,377	9,834	313,862

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	313,862
セグメント間取引消去	△4,305
全社費用(注)	△172,023
四半期連結損益計算書の営業利益	137,533

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	50,206千円	37,690千円
のれんの償却額	48,330千円	－千円